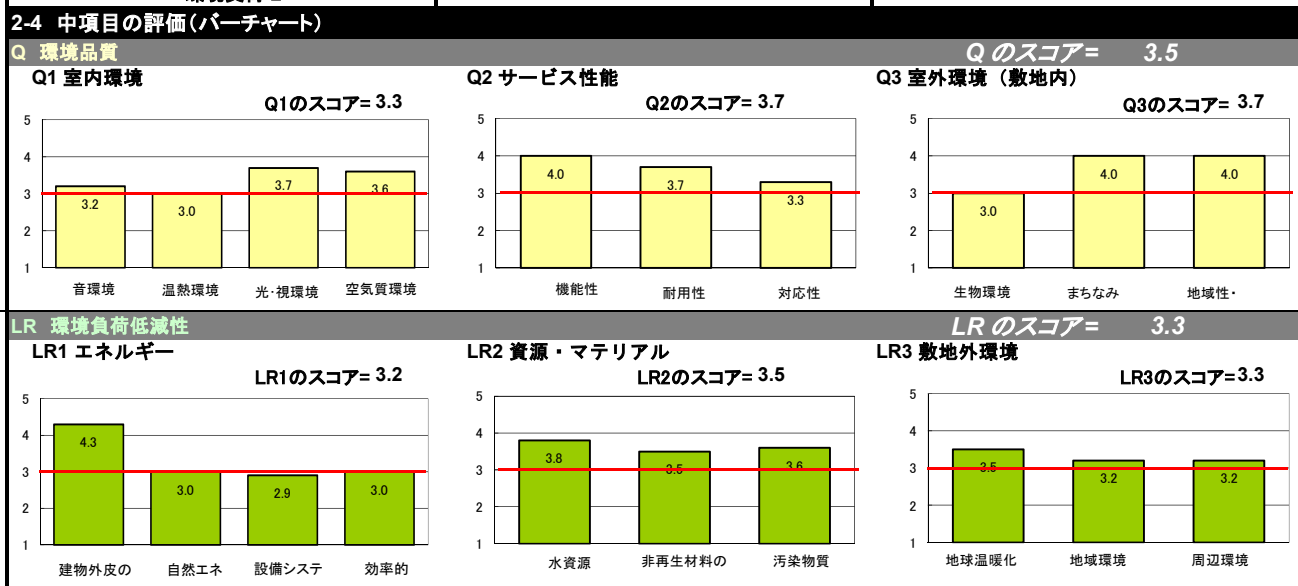
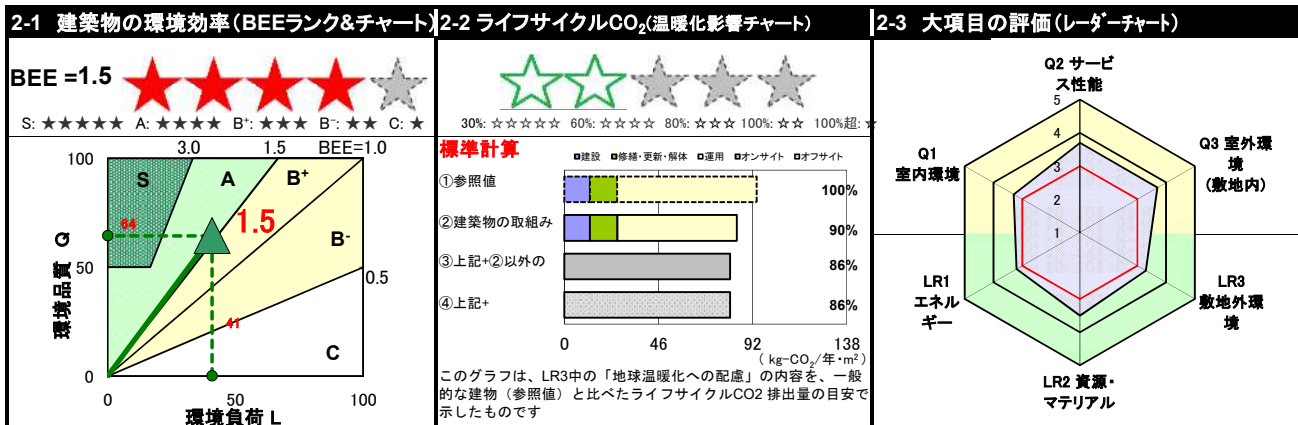


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	村岡公民館	階数	地上3F
建設地	神奈川県藤沢市村岡東一丁目5番17	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	36 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,760 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月	評価の実施日	2025年7月15日
敷地面積	5,733 m ²	作成者	株式会社 小林建築事務所
建築面積	1,698 m ²	確認日	2025年7月15日
延床面積	4,058 m ²	確認者	株式会社 小林建築事務所



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
施設の安全性・長寿命化を確保しつつ、「みんなが気軽に訪れ 支え合い 絆を育む 安全・安心で明るい公民館」を基に、誰もが利用しやすく、交流を促進する施設を目指す。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
多目的ホールの壁、天井材に吸音材を使用し、全館禁煙とし空気質環境に十分配慮。	災害時に雨水を便所洗浄に使用。 適切にパイプスペースを設けるなど、長寿命化に向けて設備のメンテナンス及び更新性に配慮した計画。	テラスを多く設置し地域の憩いの場に貢献している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高断熱材の使用により外皮性能を上げて、温熱環境に配慮。 LED照明を採用するなど、設備システムの高効率化に配慮。	雨水利用設備を導入し水資源の保護に配慮している。 高性能ノンフロン断熱材を採用している。 自動水栓及び節水型便器などの省水型機器を採用するなど、水資源を保護している。	ゴミ量の推計や有価物の回収を計画し、廃棄物処理負荷抑制に配慮している。 また、広告物照明を行わないなど周辺環境へ配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される